11.7.18 受

19

No. 1.

大正11年7月14日

機密労第参號

浅原健三氏一派ガ筑豊四郡炭坑夫同盟創立運動ニ付テ

本月一日付労第三千四四及同八日付労第三千八四報告ニ於テ浅原健三氏一派ト日本総同盟会本部麻生理事（同氏ハ今ニモ来縣スルヨウ噂アルモ福岡縣藤山警察部長ト一昨日面会ノ節マデハ来ラズトノコトナリシ但新聞紙ハ来縣シオルヨウ掲載セリ）今氏ハ大阪ニ途次立寄リオルヤニ聞ク）及幹事加藤勘十氏（本人ハ確カニ来縣滞在中）等ハ其後ドウシテモ豫期ノ目的タル筑豊四郡八万坑夫ヲ味方ニ入レ福岡鑛務署管内十七万人ノ坑夫マデモ追ッテハ入会セシメント大決心ヲ計画シ実現ニアタヱル方法ヲ講ジオルモ別紙新聞紙切抜ノ如ク炭坑側ノ厳重ナル警戒ト炭坑所在地警官関係ニ依リ苦心惨憺シツヽアルモ及バズ創立ノ同盟式ヲ挙ゲ得ルト揚言シ入会員数ノ如キモ官憲ノ称スル五拾

峰地二坑 漸く解決

一時は罷業を起したが 平穏無事に落着

福岡縣田川郡添田町藏内鑛業所峰地炭坑第二坑が愈事業を中止する事となり小柳、森本の三納屋は既に大峰一坑と二坑に轉坑したが残り六納屋は解散か轉坑か判明せず稍々悶着を起して居た而して舊正月元日に相當する二十八日は一名の入坑者もなく[illegible]宴を開いて居たので某筋では[illegible]であ

襲

工廠内に職工學校新設

職工養成の爲

佐世保海軍工廠では堅實な職工を養成する目的で工廠内に職工學校を新設し來る四月の新學期から授業を開始すべく準備を進めて居る其の名稱は養成所と呼ぶか或は教習所と名付けるか未定だが生徒は佐世保市立工商補習學校の工業科生徒全部（三〇〇）（工廠の見習工）と工廠で新に募集する約四百名の見習工と合せて約一千七百名を收容し乙種工業學校程度の教育を施す筈であると（佐世保）